第29回 学長選考会議 議事要旨

日時 平成21年11月6日(金) 9:00~11:45 場所 事務局第3会議室

議題1. 学長候補者の選考について その他

[出席委員] 16名

辰村委員長

(学外有識者) 石窪、岡積、園田、中村、林、萬田

(学内委員) 木部、河原、清原、榮鶴、岩元、野呂、菅沼

(理事) 中山、盛本

[欠席委員] なし

[オブザーバー]

坂東監事

[事務局]

(部長) 丸山

(課長) 鵜飼

議長から、新しい委員の紹介があった。引き続き、第27回及び第28回学長選考会議の議事要旨の確認が行われ、原案どおり了承された。

議題1. 学長候補者の選考について

議長から、現学長の任期が平成22年1月11日で満了となることから、次期学長候補者を選考願いたい旨説明があった。

はじめに、経営協議会及び教育研究評議会から推薦された2名の学長候補適任者も同席の上、プレゼンテーションの進行及び質疑応答の手順について、総務課長から説明があった。

続いて、学長候補適任者により50音順のクジ引きで順番を決めた結果、以下の順番でプレゼンテーションとそれに対する質疑応答が行われた。

- ①吉田浩己 学長候補適任者
- ②福井泰好 学長候補適任者

プレゼンテーション終了後、学長候補者の選考について審議された。

議長から、学長候補者の選考にあたっては、協議によることとなっているが、過半数の同意が得られない場合には単記無記名の投票となっていることから、投票用紙の様式を確認願いたい旨諮られ、原案どおり了承された。

また、投票に際し、白票は無効とすることが確認された。

続いて、学長選考規則第5条第1項により、学長の選考に関する協議を行い、以下のような意見が出された。

- ・総合大学なので、幅広く意見を聞き、その中で方向性を示せる方がいいのではない か。
- ・これまでの学長としての実績も考慮していいのではないか。
- ・現在、本学は様々な問題に直面し、対応策を検討している状況にあるため、これら の問題等を熟知し、早急に処理し得る方が望ましい。
- ・自ら身を切る覚悟で、教職員の意識改革、教育システム改革、組織改革などに迅速 に取り組んでいただきたい。
- ・学内の調和、バランスも必要である。
- ・大学も特化する必要はないが、特色は持つべきである。

協議の結果、過半数の同意を得る学長候補適任者はなかったため、学長選考規則第5条第5項により投票を行い、石窪委員及び木部委員の立ち合いにより開票の結果、投票総数16票、有効投票数16票(過半数9票以上)のうち、過半数を得た吉田浩己学長候補適任者を学長選考規則第5条第6項により学長候補者とすることが決定した。

引き続き、議長から学長選考規則第7条による学長選考会議における学長候補者の選 考結果の公表について諮られ、教職員宛、報道機関宛の通知文は原案どおり了承され、 学長候補適任者宛の通知文については一部修正のうえ了承された。

また、学長選考規則第8条第1項により議長から学長に選考結果を報告の上、同条第 2項により学長から文部科学大臣に対し次期学長の任命を申し出ることとなった。

その他

特になし

次回の学長選考会議から、今後の学長選考の在り方等を協議することとなったが、開催 日時については調整中のため、決定次第各委員に案内することとなった。